

KYOTO - Kameoka



京すだれ川崎



made in KYOTO

京都府亀岡市千代川町千原片ホコ 14 - 3

TEL 0771-22-6833 FAX 0771-22-6835

<https://www.kyo-sudare.com>

tegami@kyo-sudare.com

 京すだれ川崎  kyotosudare1972

すだれや紹介

ここは京都から車で約 40 分走った所にあります。
親方は、集団就職列車に乗って、京都東山の老舗すだれ店で
でっち奉公をした、すだれ職人です。
「すだれ一筋の頑固者で・・・」
でっちを経て、初めてお店を開いた場所は、京都・嵯峨野の住宅街でした。
だんだん手狭になってきたので、京都市の隣「亀岡市」に移転しました。
お店は6か月かけて改装をしました。2022年4月に改装が終わりました。
天然素材に会える空間です。
工房は「木・竹の加工場所」と「すだれ編み場所」などに分かれています。
すだれの編み機の中で一番のご長寿は80年ぐらいで、修理をしながら
動いています。新人もおります。
毎日・・・悪戦苦闘しながら毎日働いております。
ここ2年ほど長く使ってこられた編み機を色んな所から譲り受けて
気づけば10台を超えました。
譲り受けた編み機を次につなげるために、すだれやで使っていきます。



すだれには、屋外用・室内用があります。
屋外用すだれの主な材料は「葎と竹」です。古くから京都では、
日除け・目隠しとして使われています。
すだれを軒先に吊るす事で、およそ3～4度、部屋の温度が下がり涼が得られます。
葎は、水を浄化すると言われてます。
すだれの文化を残すことによって、環境保全につながると、私たちは考えています。
物を大切にする心を大事に、すだれやでは長くご使用されて傷んだすだれ等の
「RE-USE」に取り組んでいます。
糸が切れてしまったすだれを、編み直したり・ふちの取り換えなどを行っています。
親方は言います
「古きより伝わる物を作り、新しきものを作りだす力をまとい、それを生み出す心を養う」
昔から京都で育まれた物作りを次の世代へ繋げたい。
私たちはいつも、その言葉を心に挑戦していきます。



すだれの文化を残すことによって環境保全につながると私たちは考えています。
物を大切にする心を大事に、すだれやでは長くご使用されて傷んだすだれ等の
「RE-USE」に取り組んでいます。



MISU- 御簾



SUDARE- 軒吊り用京すだれ



SUDARE- 室内用すだれ (彩すだれ)



KASUMI 着物のぼかし染めを表現しました。



MISU お座敷すだれ - 散節



葭戸 - 模様合わせ



Amutas すだれ × アジロを合わせたすだれ



Take-amu
すだれやの竹編み加工

